

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	ニーニョスクラブ I				
事業所番号	4650000153				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市下福元町字松ヶ尾 1 7 3 0 番地				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2にURLを記載
	2. 内容	https://www.keiseikai-kagosima.jp
	※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	中島 直美
連絡先 (TEL)	099-210-1866

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ニーニョスクラブ I		
○保護者評価実施期間	令和8年1月6日		～ 令和8年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和8年1月26日		～ 令和8年2月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月4日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援の取り組み内容	親子療育の充実。参加の呼びかけと、保護者様間の交流。	・食育を通じた親子療育の計画。更に、参加の少ないご家庭へ今しかできない親子での関わり体験のお声掛け。
2	クッキング・給食、おやつを通じた食育活動	・野菜等の食材を利用したクッキング。 ・給食、おやつ時の食材を一口、口に付けるところからの様々な食材へのチャレンジ。	お子様の状況に合わせたステップアップ。お子様の興味を引き出す中で、積極的に取り組めるようにする。
3	ABAを取り入れたお子様支援	・ABAを用いた支援の中で、お子様個々に合わせた個別対応支援。 ・一人一人に合わせた専門的に特化した支援方法を定期的に共有する。	・職員のスキルの向上 ・専門職員との連携

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流を行う。	全利用児が保育所や認定こども園、幼稚園との併用の為、主な生活の場となっており、改めて交流には至っていないが、職員も含め交流の場を今後検討していく。	・保育所や認定こども園、幼稚園にも交流のお話をしてどのようなことが行えるか職員間での話し合いを検討していく。 ・併用先との密な連携を図り、情報の共有を図っていく
2	非常災害に対する、マニュアル・災害後の連絡方法の周知	様々な災害に対する、マニュアル・避難場所・周知方法においてご家族様への周知方法を再度見直し、災害時の考えられるリスクを軽減していく	・誰がみても分かりやすい確認方法の周知 ・契約にて丁寧な説明を行う事ができるような仕組み作りを行っていく
3	ST以外の専門職との連携	法人内には、OT・PTがいるが、なかなか連携がとれていないため、専門職による支援を検討していく。	・他事業所との連携を図り、必要に応じて現場にて支援、助言をしてもらう。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		令和 8年 2月27日	
ニーニョスクラブI					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子様の発達に応じたスペースの配慮を心がけている。	基準を満たしたスペースとなっておりますが、お子様の状況によって机等の配置に注意しながら十分なスペースを確保してまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		対応が必要なお子様には必ず1対応できるように整えている。	基準を満たした職員配置数となっております。お子様の状況や人数等も考慮し、他事業所からの応援依頼など職員数を調整しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			活動内容に応じて環境設定を行えるよう努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		こまめな換気とその日のものはその日のうちに整理している。	療育室、トイレ、倉庫等の管理責任者がいるため衛生管理を徹底しております。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		発達段階に応じて場を設け対応している。	お子様が落ち着かない場合には、お子様の状況に応じて落ち着く環境を作っています。
業務 改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		大きく年二回に分け、事業計画の進捗状況、見直しを図っている。	毎月1回ケース会議時に業務改善事項があれば協議し、その他の改善事項があれば朝礼等で発信し改善に努めております。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価の結果について、事業所職員と情報共有でき、改善に繋がるよう話を行っている。	毎年1回保護者様向けの評価、事業所評価を実施し、保護者様からいただいたご意見を事業所間で共有し業務改善に努めてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		こまめな情報共有と目的意識の一致、すりあわせ。	月1回ケース会議を開催し、その際に意見を把握しています。また、毎日の朝礼でも必要な情報等については館内で情報共有を行っております。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			今後は実施できるよう検討して参ります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、お子様の情報共有を図る職員会、療育研究会、安全衛生委員会、虐待防止委員会、ABA研修など、職員の質の向上のための研修を行っている。	毎月1回療育研究会を実施。その他内部研修・外部研修を受けながら職員のスキルアップに努めています。
適切な 支援の 提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月1回月間予定表として、保護者様に配布と、事業所に掲示を行っております。	支援プログラムを作成し、慶生会ホームページにて公表しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その情報を職員で共有後に計画案を作り、保護者様、職員との検討会議をし本計画とする流れで作成しております。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日頃より情報共有や困り感や目標などをステップを踏んで掲げている。	児童発達支援責任者を中心に事業所の全職員でアセスメントを実施した後に、児童発達支援計画を作成しております。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			計画案を作成後、職員や保護者様と検討会議を行い本計画を作っている為その中で共有している。また、計画の変更があった際も随時共有を行っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			ガイドラインに基づいた冊式で児童発達支援計画を作成している。日々の行動観察は連絡帳にて記録し、その中の項目にてアセスメントを行っています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			児童発達ガイドラインに基づき支援内容を設定しています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			活動内容の立案は職員間でお子様の状況に応じて協議しながら、チームで連携や共有が図れるようプログラム立案を行っております。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		わくわくするような変化を取り入れ、お子様の好奇心を高めている	活動が固定化しないように、常に情報収集、共有しながら、プログラムを作成しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			お子様の状況にあった支援を提供している。時に個別対応が必要である場面もある為、状況に応じて児童発達支援計画にも反映するよう努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			毎日業務日誌を記載し、人数、活動内容、所感をもれなく記録し支援の改善に繋げております。
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			児童発達支援管理責任者を始め、直接支援している児童支援員・相談支援員が参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		情報交換会だけでなく、送迎時を利用して共有を図っている。	年2回併用先の保育園、幼稚園とは情報交換会を、また、送迎時にはその都度情報共有を図っております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			年間3回の南部地区連絡会に参加し、地域との連携をはかっております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			特定の保育園、幼稚園のお子様との交流はありませんが、地域の交流スペースを利用することで、地域の子どもたちとの交流の場になっております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		面談や送迎時の申し送り、親子療育等を通して保護者様とお子様の状況や、課題について情報共有を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		家族会時に研修の場を設けております。	家族会時の研修の他に、ABA研修等、さくら連絡網にて案内や、館内掲示にて案内をしております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			契約時に説明を行い、利用さy負担が必要な際は、随時説明を行い同意をいただいております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			作成する前に、お子様保護者様からモニタリング、アセスメントを行い、その内容を検討会議にて確認しております。

保護者への説明等

37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			年2回、支援計画を基に検討会議を行い保護者様より同意をいただいております。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		申し送りや連絡帳から受け取れる情報をもとに安心してもらえるよう声掛け。	引き続きご家族様からのご相談には、迅速かつ、的確に応じられるように努めてまいります。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		提案を行っている。親子療育での場をいかし交流の機会を促している。	交流の場として、定期的な親子療育にて交流できる機会も設定しております。今後も保護者様同士の交流が図れる機会を設けていきます。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		報連相を迅速に行い早い対応を促している。	相談があった際は、職員間で共有し最善な対応に努めると共に、必要であれば関係機関とも連携を図りながら、解決に繋げられるよう対応してまいります。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			今年度より、事業所のインスタグラムを開設し、定期的にお子様の活動の様子を発信させていただいております。引き続き、活動の様子を発信してまいります。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			個人情報の取り扱いには、十分気を付けております。引き続き、職員で共有し、気を付けてまいります。
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			お子様には視覚的支援など様々な手段を活用し、また、保護者様には、連絡帳や必要に応じてお電話等にて、お伝えできるよう工夫しております。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			夏に、法人でサマーフェスタを開催し、地域の方にもお声掛けさせていただき、交流を図っております。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアルは、整備できておりますが、保護者様に周知していただけるよう工夫してまいります。また、訓練等に関しては、月間予定表にてお知らせしております。
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、随時変更があれば更新しております。毎月1回、地震、火災、不審者対策等の避難訓練を実施しております。	
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			発作、服薬、予防接種等については契約時に詳しく確認を行い、変更があれば随時申し出ていただいております。
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			発作、服薬、予防接種等については契約時に詳しく確認を行い、変更があれば随時申し出ていただいております。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、事業所内で方策を検討しております。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			毎月1回虐待防止委員会を開催し共有している。法人内の全体研修時にも虐待について取り上げております。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在身体拘束が必要なお子様はいらっしゃいません。必要なお子様に関してはお子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童発達支援計画に記載しております。

非常時等の対応

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ニーニョスクラブ I

公表日 令和8年 2月 27日

利用児童数 18名

回収数 15名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15					室内は、保育室とは別に、運動などができるプレイルーム、クッキングができるレストランなど確保されています。活動に合わせて様々な室内を利用しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		1		お子様5人に対して職員1人の基準を守る範囲で、支援させていただいております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		2		室内は、バリアフリーの対応をさせていただいております。情報伝達等、さらに分かりやすくなるよう工夫してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子どもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1		1	トイレのカーテンが上にあげてあり一人で行ったときにカーテンを下すことができないみたいで丸見えになるのが気になります。	年齢やお子様の状況に合わせてカーテンを巻いたり、開けて利用したりしています。カーテンが常に降りていると危険な状態もあるため、巻戻し上げている状況でした。お子様の利用時は、職員が後ろすようにしています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14			1	いつもありがとうございます。	毎月、お子様の状況、支援方法について、職員で情報共有を行っております。今後もお子様お一人一人に合わせた支援ができるよう職員一同努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15					支援内容等、職員で話し合いをし、検討しております。今後も、お子様の強みを引き出せるよう計画してまいります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14			1		お子様の状況、支援方法について、職員で情報共有を行い支援計画を作成しております。今後もお子様お一人一人に合わせた支援ができるよう職員一同努めてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					支援計画には、ガイドラインに沿って作成するようにしております。また、今年度から、作成ソフトの導入により、ガイドラインにそぐわない場合はお知らせもあり、間違いのないように作成を行っております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					支援計画を作成する際に、事業所職員で、お子様お一人一人に合わせた計画が作成されるようしており、計画に合わせて支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14			1		運動、製作、リトミックなど同じ曜日には固定されない様、月ごとに変更をしています。今後もお子様に楽しみながら通所して頂けるよう工夫してまいります。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	1	1	3	幼稚園に通っているのですが、ここではその必要性を感じない。	現在、地域の保育園幼稚園との連携はとっていない状況でした。今後、必要に応じて連携がとれるよう働きかけまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					利用契約を行う際には必ずお伝えできるようにしております。今後も、丁寧に説明できるよう気を付けてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					利用契約を行う際には必ずお伝えできるようにしております。今後も、丁寧に説明できるよう気を付けてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15					ペアレントトレーニングは行っておりませんが、研修の案内等は、掲示や、SNS等で発信させていただいております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15					・とてもありがたいです！ ・すぐわかりやすく、その日の様子を描いてくれるので助かります。
保護者への 説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14			1		年2回、個別面談に向けた面談。また、必要に応じて、担当者含研修等行っております。必要がありましたら、職員まで申し付けください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					常にご家族様に寄り添い支援できるよう職員間情報共有を図っております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	11	1		3	親子療育や家族会などはあるが、兄弟支援の方はされているのかわからないです。	室内での環境、感染対策等でご兄弟の親子療育参加、支援が難しい状況もありました。また、戸外での親子療育には、ご兄弟様参加していただけるような場を提供させていただいております。今後は更に、ご兄弟様の交流もできるような支援を工夫してまいります。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			1		いつでも相談窓口付けております。周知ができておらず、申し訳ありませんでした。今後、必要がありましたら、いつでも事業所へお申し付けください。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					お子様とは、常にお一人おひとりと向き合い支援できるよう意識しております。また、ご家庭様とは、送迎時や親子療育、連絡帳を通して、また、必要に応じてお電話や面談を行い情報共有が図れるよう努めております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15					連絡帳、チラシ、掲示、SNS等を通してお知らせができるよう努めております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					個人情報には常に意識し配慮できるよう業務所内で定めております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15					毎月様々な災害に対応した避難訓練、また、年1回、前記訓練とうを行っております。また、マニュアルは、法人で作成しております。運動については、連絡帳や、月間予定表にてお知らせを行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15					毎月様々な災害に対応した避難訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					お子様の安全を確保するため、野面の見直し、また、掲示にて常に意識できるように行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			1		事故等や怪我等が発生した際は迅速に保護者様へ連絡はするようにしております。気になること等ございましたら、事業所まで申し出てください。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					お子様が、楽しく安心して通所して頂けるよう、お子様に寄り添い、支援させていただいております。
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15					活動も固定化されない様、楽しんで通所して頂けるよう、工夫しております。引き続き、様々な活動を通して、お子様の支度ができるよう工夫してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				毎回、色々な活動を考えられていても感謝しています。親子療育も親子で楽しめる内容で、家では見れない子供の様子や集団での様子も見れるのでありがたいです。	お子様の成長を引出せるよう、保護者様と一緒にお子様の成長を共有、共感できるよう職員一丸支援させていただいております。また、親子療育では、毎週に家庭では見れないお子様同士のつながりや、頑張る姿も見ていただきたいと思っております。また、親子療育を通して、保護者様同士のつながりも大切にしたいと思っております。今後さらに、お子様の様子を引出しながら、支援できるような事も探らせていただきます。